

「エネルギー源を比べ、 環境へ負荷の少ない エネルギーを考えよう」

板橋区立高島第一中学校◎9年生4クラス 128人
2月26日・3月1日

- 活動1) 3つのエネルギー源の地球上での出来方を知る
活動2) 各人、風力発電器で発電させ LED を点灯する電気をつくる
活動3) 化学エネルギーの輸入率の高さと、使用年数などを知る
活動4) 3つのエネルギーの「良い点」「問題点」「自分の意見」を3枚のカードに記入して班ごとに掲示する
活動5) 全員、自分のカードの意見を発表する
以下、生徒たちは学習後の自分の意見を堂々と発表しました。

化学エネルギー（化石燃料）自分の考え

あまり使わない方がよい／2
環境にあまりよくないからできるだけ使わない／2
日本はもっと他のエネルギーに依存すべき
少しずつ減らしたい／4
自然エネルギーに頼る／4
二酸化炭素がたくさん出るので考えて使用
二酸化炭素の排出が多いので、化学エネルギーは環境に良くない
節電しよう
二酸化炭素を利用することによって、何か他の新たなエネルギーを作り出すことができると思う
この資源は限りがあるから、他の再生可能エネルギーを利用する
他のエネルギーを使った方がいい
あまり石油・石炭に頼らない



有限であるからたいせつに使う／2
1回に使う量をへらし、長期継続使用
環境へ影響があるが、発電量が多い為仕方ない
使用量を工夫する
後50年で、石油王がいなくなりそう
石油王は石油がなくなったら、どうやって暮らすか
石油がなくなるとどうなるか
生活で使われている
約40億年後には、太陽エネルギーがなくなるかもしれないから、もっと、高度な科学技術が必要になる
環境に悪いし、限りがあるから、減らした方がいい
いつか地球が終わる
使いどころを考える

※同一意見が複数の場合／の後にその人数を記載

SOE NEWS

No.171

2021.3



センスオブアース

市民による自然共生

パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

原子力エネルギーについて自分の考え

.....
ほどほどにする

.....
危険性が高くなるべく使わない／4

.....
しっかり管理する・もっと熱をおさえる／4

.....
自然災害が起きたときに被害を受けないような構造にする・安全な場所／2

.....
原子力発電廃止／4

.....
省エネを心がける・電気を多く使わない／3

.....
もっとみんなに知ってもらおう

.....
原子力以外に使えるエネルギーを発展させればいいと思う・開発／4

.....
外国と土地を共有し、燃料エネルギーの輸送システムを作る

.....
ハイリスクハイリターン

.....
フランスは原子力エネルギーすごいよね

.....
二酸化炭素排出しない点で環境にやさしい／2

.....
危険だが、二酸化炭素の排出量を下げる

.....
地震が来たらヤバイ

.....
たくさん作る

.....
人類生存のため致し方ない

紙の風車で発電しました



柳沢 忠男 校長先生「環境問題に目を向けるきっかけになった。良い学びができた。」

理科 徳田 千了 先生「環境問題を身近に感じクラス全員の意見を聞くことで環境への考えを広げることができた。板橋のデータも含まれ、自分たちの問題だと感じる事ができた。」

再生可能エネルギー（自然）自分の考え

.....
小規模なソーラーパネルを導入する

.....
これから増やすべき／3

.....
発電所をたくさん増やす／2

.....
天候に左右されるので小規模に利用できるようにする

.....
増やせば 勝ち

.....
日本は森林面積が多いので、植物を活用した発電方法を考えてほしい

.....
天気が悪くても発電できるようにする

.....
小さな施設でたくさん電気を作れるような発電方法を作ってほしい

.....
使える自然エネルギーはまだたくさんあるので、どんどん使ってほしい

.....
家の屋上にソーラーパネルを設置する／3

.....
色々なエネルギーをいろいろなところに設置するべき

.....
環境のことを考えると一番使うべきエネルギー・もしもに対応する／2

.....
バランス重要／2

.....
節電する・節約する／2

.....
場所や天候に合った発電をする／2

.....
依存しちゃダメ

.....
メリットに対してデメリットの方がでかいから自分は好きじゃない

.....
自然を増やす・大切に使う／4

.....
自然を守るために森林を傷つけずに地球温暖化を進めないように努力する事

.....
化石燃料から自然エネに切り替えるべき

.....
自分でできることを見つけて実行する／2

.....
ごみをあまり出さないようにする

.....
※同一意見が複数の場合／の後にその人数を記載

ワタからとても細い糸を上手につむいでいます



育てたワタから 糸をよりました

板橋区立中台中学校
ボランティア部
顧問 副校長 石井 謙次 先生
◎2月15日◎

春の5月から、石井副校長先生は、SOE が贈ったワタと大豆の苗を植え付けていました。その後、ボランティア部の手によって育てられて来たワタ。秋に無事、生徒たちが収穫しました。



生徒たちの意見

◎一からものを創ることの大変さ、先人のすごさを知った。◎細かい作業一つ一つが大切なものだと感じた。◎植物から洋服を作ることが可能なら、石油を少しでも温存できる、地球温暖化防止につながる素晴らしいこと。◎外国との問題や環境の問題にもかかわっていて、自分たちで作ることがとても良いことだとわかった。◎機械がなくてもできるということ。◎自然のものからできているものは、環境にもいいし、



肌触りもよいので、すごく気になった。今回みたいな体験はすごく良い。◎私たちと同じような年の子たちが勉強もできずにワタをつんで、しかも安いお金で働いていると知った。自分の国で作れ、それを自分の国で使う。これが一番良い。◎子供に作らせているのはいけないし、早く終わらせないといけない。積極的に作る活動をした方がいい。◎安いだけで選ばずに生産者の社会も考えながら、買い物をしたい。◎日本産のものも、徐々に増やしていったらいい。◎石油など温暖化の原因につながるからなるべく減らす。



SOE創作紙芝居
「フワフワちゃんとコロコロちゃんの歌」の観賞

2020年度 第9回目 SOEワークショップの「リモート講座

参加者27名◎2月28日◎14:00-17:00

3月21日にエコポリスセンターで開催される「食品ロス」講演会とレポート発表会の準備を、東京家政大学人文学部教育福祉学科 宮地ゼミ学生有志の皆さんとリモートで行いました。

《学生によるレポートテーマ例》

- 1、食品の流れ（流通）
- 2、食品がすてられたらどうなるか
- 3、日本と世界を比べよう
- 4、途上国の食品ロス
- 5、みんなでいっしょに取り組もう



農林水産省・食料需給表より

(小林富雄著『食品ロス1』より引用)



「食品ロス」講演会 講師／食ジャーナリスト 小倉 正行 氏

東京家政大学人文学部教育福祉学科 宮地ゼミ生有志によるレポート発表有り

日時／3月21日(日) 13:30から16:00 会場／板橋区立エコポリスセンター 視聴覚ホール

お申込／FAX・電話とも 03-3960-6052

お名前・お電話番号・ご参加人数をご記入の上、基本FAXをお願いします

定員／40名：定員になり次第、締め切り(感染状況により、開催延期有り)

発行 特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052

e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp